

## 週末にかけて、広い範囲で災害級の大雨に嚴重警戒 ウェザーニューズ×Twitter、災害発生情報をリアルタイムに無料公開 ～災害の発生場所や危険なエリアをひと目で確認、ビッグデータで被害軽減へ～

週末にかけて、広い範囲で災害級の大雨が予想されています。そこで、株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁、以下ウェザーニューズ）は、大雨による被害を少しでも軽減させるため、Twitter Japan 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：笹本裕、以下Twitter Japan）の協力を得て、ウェブサイト「#減災レポート」を公開しました。

ウェザーニューズとTwitter Japan が展開する協業プロジェクト「#減災レポート」は、自然災害によって発生した被害状況をウェザーニューズ会員やTwitterの利用者の方々から報告いただき、それをウェブサイトでリアルタイムに広く公開することによって、個人・地域の被害を軽減させる活動や防災活動を推進していく参加型のプロジェクトです。今回公開したウェブサイト「#減災レポート」は、ハッシュタグ「#減災レポート」を付けて寄せられる被害状況がご覧いただけ、危険なエリアや災害の発生場所をマップでひと目で確認できます。どなたでも無料でご利用いただけるので、ご家族や友人などに共有し、避難行動や減災のための活動にお役立てください。

ウェザーニューズは、今後も「#減災レポート」の機能拡充を行い、災害情報の収集を質的かつ量的にも大きく飛躍させるため、一般ユーザーや自治体、放送局に参画を促していきます。

※最新の大雨見解は、大雨 NEWS (<https://weathernews.jp/s/news/rain/>) でこまめにご確認ください。

本プレスリリースの素材のダウンロード	ウェブサイト「#減災レポート」はこちら	
ウェブ版プレスリリース 「WNI×Twitter、#減災レポート公開」 <a href="https://jp.weathernews.com/news/23763/">https://jp.weathernews.com/news/23763/</a>	ウェブサイト「#減災レポート」 <a href="https://weathernews.jp/s/gensai/twitter/">https://weathernews.jp/s/gensai/twitter/</a>	スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」 をダウンロード後、 「お知らせ」にアクセス

### ◆災害の発生場所や危険なエリアがひと目でわかる「#減災レポート」を公開

非常時において、いち早く被害を特定し、変化する状況をリアルタイムに把握することが、被害を抑えることに繋がります。

ウェザーニューズが公開したウェブサイト「#減災レポート」では、自然災害による被害状況の報告をリアルタイムに広く公開します。ウェブサイトは無料で利用可能で、大雨による浸水や冠水、土砂災害が発生した場所など、危険なエリアをひと目で確認できるのが特長で



ハッシュタグ「#減災レポート」が付いた情報が地図上にプロットされ、利用者は雨雲の様子と合わせて各地の状況を確認することができる。(サンプル)

す。また、今起きている災害情報を全国範囲で確認できるので、離れた場所にいるご家族や友人にも注意喚起を行うことができます。

ウェブサイトに掲載される情報は、ハッシュタグ“#減災リポート”の付いた情報で、Twitter アカウントをお持ちの方はどなたでも投稿が可能です。今後は、災害情報の収集を質的かつ量的にも大きく飛躍させるため、一般ユーザーに参画を促します。両社は、災害時に各地の状況をハッシュタグ“#減災リポート”を付けてツイートしてもらうことを広く浸透させるため、自社発信だけでなく、放送局や自治体などにも協力を求めていると考えています。

#### ◆ハッシュタグ“#減災リポート”をつけて、災害情報を発信

週末にかけて、広い範囲で大雨が予想されていることをうけ、減災に向けた協業プロジェクト「#減災リポート」では、大雨で発生した(発生している)災害の情報を Twitter で募集します。

投稿方法は簡単で、ハッシュタグ“#減災リポート”と位置情報をつけて、撮影した写真をツイートするだけです。いただいた情報はウェブサイト「#減災リポート」で公開します。

※投稿をする際は、身の安全を第一に、安全な場所から無理のない範囲で報告をお願いします。



#### ◆災害情報をリアルタイムに収集・公開し、被害軽減へ

Twitter は、2011 年に発生した東日本大震災の折、避難関連や被害状況、安否確認、物資関連の情報が多くツイートされ、ライフラインの一つとして活用されました。以降、Twitter の月間アクティブユーザーは 4,500 万になり、“今”起きているものごとを共有するオープンなプラットフォームとなっています。

また、ウェザーニュースにも、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」などを通して、1 日約 18 万通の天気報告が寄せられています。日々の天気報告によって、現地の詳細な気象状況や自然災害の影響把握ができ、予報精度の高い気象情報の提供に役立てられています。

このように、様々な情報が多く寄せられるウェザーニュースと Twitter Japan は、地震や荒天時の情報をリアルタイムに収集し、広く公開・提供することで被害軽減に繋がれると考えています。両社はこの認識を共有するパートナーとして、それを実行し、推進するために協業プロジェクト「#減災リポート」を立ち上げることに同意しました。

ウェザーニュースと Twitter Japan は、自然災害による被害を少しでも減らすべく、本プロジェクトを通じた情報収集・発信を強化していきます。